

【所信】

2021年度 理事長 酒巻杏里

本来であれば東京オリンピックが華々しく開催されたであろう2020年、新型コロナウイルスのパンデミックにより、私たちの日々の暮らしは一変しました。「密を避ける」が標語となり生活娯楽関連サービスへの低下寄与や個人消費の落ち込み、また入国制限による訪日外国人の消失による外国人旅行消費額の減少やそれに伴う生産波及効果の低迷などにより2020年4月から6月までのGDPは戦後最大27.8%の減少となりました。先行きの見えない状況は景気悪化の更なる連鎖拡大を予感させられます。

新型コロナウイルスが私たちに与えたものは経済的危機だけではありません。就業形態や教育現場、医療や介護現場の変化や、他府県往来の自粛などの行動制限、新生活様式という概念など、従来の人々の価値観、社会のあり方までもが揺らぐ事態となりました。世界でも混沌とした状況は人々に不安を与え、これまで目を逸らされていた社会的経済的な格差、国家間対立の悪化、世界で拡大するBlack Lives Matterの抗議運動から見える根強い人種問題など次々と浮き彫りになりました。

しかし、そのような状況の中得体の知れない恐怖を前に一度立ち止まる事で見えてきた物もあるのではないのでしょうか。それまでの当たり前や正しさを見直し、今の状況下で生きていく方法を模索する中で、新たに得る物もあるのではないのでしょうか。本当に必要とするものが何であるのか、大切なものが何であるのか、改めて感じる事もあったのではないのでしょうか。私たちは今、社会全体の価値観が革命的に変わる“パラダイムシフト”の過程に位置しているのだと思います。現社会を創造した先人たちは、様々な時代の度重なる戦争や災害で荒廃したこの国やそれぞれの地域を何度も立て直し発展させてきました。変化を捉え、柔軟に対応しそれぞれが問題意識を持ち未来を考える、次は私たち青年がその役割を担う番です。混沌とした未知の可能性を切り開き、明るい社会そして地域の未来を創る為に、営利組織とも政治団体とも行政機関とも違う私たち青年会議所だからこそ出来ることを、メンバー一人一人が自身への課題と捉え一年間運動をしてまいります。

コロナウイルスが齎した影響により、新たな課題が生まれる一方で、私たちが従来直面していた問題に対しても今後は新規発想を持って取り組んでいく必要があるのではないかと考えます。全国の地方都市と同様に私たちの活動圏域においても、少子高齢化そして人口減少という大きな課題があります。2020年5月東京都への人口転入・転出ともに前年に比べ大幅な減少傾向となり転出が転入数を上回りました。新型コロナウイルス問題が発生したための一時的な現象なのかもしれません。しかし生活環境が変わる中で多くの人が都市部一極集中の是正を問うたのではないのでしょうか。企業がリモートワークを推奨し、一部の職種においては都市部に集中するオフィスに通勤することなく環境の良い地方都市でも仕事をする事ができる事が証明されました。またウイルス対策に関しては国政に指針を仰ぐものの、

それぞれの地域ごとに地域形態が異なることから地方自治による独自の判断が求められる状況を垣間見ました。一極集中の社会から多極集中の社会へ変貌していく可能性がある中で私たち青年会議所が地域の為に出来る事を、認承60周年を迎える今新たなビジョンと共に考え行動し発信してまいります。

更に、私たち青年会議所は2019年よりSDGs（持続可能な開発目標）を推奨し事業にも取り入れ活動しています。地球上の誰一人として取り残さない社会を作るための全17のゴールはとても大きな目標に見えます。しかし、地域ごと個人ごと主体的に考え活動し小さな目的を達成していくその積み重ねの上に目標とする世界が成り立つのだと思います。そしてSDGsを達成していく上でダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包括性）についても改めて考えていく必要があるのではないのでしょうか。誰一人取り残さないということは、一人一人違う私たち全てを包括していく思いやりのある社会を実現する必要があります。子供たちからご老人まで、全ての性を生きる人々が安心して活発に生きられる地域を目指し、私たちが地域のために行う事業それぞれの中にSDGsの目標を見出し運動してまいります。

【過去を担い地域の未来を大きく描く】

描こう大きな未来委員会

今年度認承60周年を迎える上田青年会議所は、次の10年を活動していく新たなビジョンを制定いたします。2019年には台風19号が私たちの地域に甚大な被害を及ぼしました。2020年は新型コロナウイルスによる多大な影響を受けました。そのようなイレギュラーな事態がある中、未来を描くことは簡単なことではありません。しかし、私たちはどのような状況の中でも前に進む力があります。そしてその力を存分に発揮させどの方向へ歩んでいくのか、私たちの組織の中核を担う共通の理念すなわちビジョンが必要不可欠であると考えます。

認承50周年に策定されたビジョン「笑顔あふれる地域～繋げよう輝く未来へ～」を主軸とし過去10年間で「個の成長からの人づくり」に沿った会員それぞれの資質を向上するセミナー実施や新規メンバーの発掘、「夢・希望あふれる子育て推進」に沿った親と子供が共に成長できる事業の実施、「Newブランドの創造・発信」に沿った地域の文化発信や新たな地域イメージを創造する事業の実施、「健康で安心して暮らせるまちの創造」に沿った健康推進事業の実施等、多くの活動を行って参りました。そして2020年には様々な角度から過去の事業を振り返り、これまでのメンバー皆様の想いや希望が詰まった一つ一つの事業を実施することにより認承50周年の際に思い描いた未来にどれほど近づくことが出来たのか検証を行い、更なる10年先に向けたビジョンをどう策定していくか熟考してまいりました。この10年間の間に私たちの地域は様々な変貌を遂げました。現在地域が求めている事はどんな事なのか、今後地域はどのような方向へ進むのか、私たち自身はどんな地域を創りたいのか、全てを総称した大きな未来図すなわちビジョンを描いて参ります。そしてメンバーそれ

それがビジョンに対して共通の理解をして、目指す未来への第一歩を踏み出します。

【地域の未来を創る子ども達、共に学び成長する大人達】

未来を創る子育て委員会

アルベルト・アインシュタインの残した言葉の中の一つに「常識とは18歳までに身につけた偏見のコレクションのことをいう。」というものがあります。勿論生きていく上ではマナーや司法や道徳観念などの意を含んだ常識は必要であります。しかし、普通や一方的な正しさの意を含む「常識」は真っ新たな状態で産まれた私たちが、育つ上で身に付けた固定概念でしかありません。多くの大人たちがその常識を振りかざす事で宗教間や人種間における争い、性別や学歴や社会的ステータスなどによる格差問題が生まれ続けています。一人一人が安心して生きられる地域を創る為には子ども達そして大人達も共に多様性を知り、触れあい、受け入れて、違う事は新たな発想を生む事、違う事が私たちの未来にどれだけ有益であるかという事を学んでいく必要があると考えます。地域の子供達そして大人達が多様性を学ぶ事ができる事業を実施してまいります。

また、地域にとって大きな問題でもある少子高齢化に対しても、子どもや大人達が自分たちの住む地域を知り学んでいく事が解決の一步になるのではと考えます。地方の少子高齢化には出生率の低下という問題と同時に、進学や就職を機に地域を離れそのまま県外で定住してしまうという一つの流れも問題視されております。私たちの地域で暮らし続けたいと望む子ども達を育むにはこの地域の地形・歴史・文化・産業などの素晴らしさを今の暮らしを支えている大人と共に学ぶ事が必要であると考え、その機会を創出してまいります。

【伝統や文化を携え地域の魅力を発信する】

いいもの沢山発見発信委員会

私たちの住む長野県は、観光県として人気の地域であり観光業を主要な産業の一つとして捉えております。また長年の間移住希望先上位県でもあり、活動県域においても都心からのアクセスが良く、移住者へ向けた支援なども充実させており暮らしやすい街上位に選ばれる地域となっています。県外そして国外多くの方々に私たちの地域の自然や文化、産業などに対して魅力を感じていただいているのではないのでしょうか。しかし、昨今の新型コロナウイルス発生後、渡航制限などによりインバウンドは減退し移動制限などにより観光産業は大きな影響を受けました。そのような中、自分たちの地域で安全に過ごしながら地域の知らなかった文化や景色、特産品などの魅力を体感する「マイクロツーリズム」という新たな言葉も生まれました。テレワークの推進などにより移住需要は今後増加する兆しも見えております。状況の変化により従来の流れは大きく変わってきていますが、私たちはこれからも地域の魅力を発見し沢山の人に発信をしていく必要があります。なぜ多くの方は私たちの地域を訪れたいと思うのか、外の目線を知ることでこの地域の持つ素晴らしさに触れることができるのではないのでしょうか。そして私たちの青年会議所は、様々な職種のそれぞれ目線が違

う青年経済人が集まっています。新型コロナウイルスにより地域や企業等どれだけ疲弊をしているか、メンバーそれぞれが理解をしています。私たちは経済人としての目線も取り入れた地域の魅力を発信していく必要もあると考えます。

さらに地域の魅力の一つには歴史があり、伝統があります。先輩方が築き上げてきた大切な伝統事業の一つである「上田わっしょい」は本年50回目を迎えます。半世紀もの長い間一つのお祭りを続けてこられたのは、多くの市民の皆様のご協力があり、地域の皆様に愛されてきたからではないでしょうか。子どもから大人まで毎年1万人以上の参加者が集うこのお祭りを今後も地域の伝統行事として開催し続けていくためにも、未来へ向けた検討を行いながら市民総和楽の信念を継承してまいります。

【仲間が集うことで自身も成長できる環境作り】

集え青年そして輝く我々委員会

私たち青年会議所は、20歳から40歳までの年齢も職種も性別もそれぞれ違う仲間が集い、地域のため自分自身の成長のため家族や会社のためなど、多くの目的を持って活動しています。私たち青年会議所の魅力はそんな様々なメンバーと一緒に活動をしていることです。多くの人に出会い共に活動をする中で、新たな価値観を知り、様々な可能性があることを知ります。その過程の中で新たな自分と出会い成長に繋がっている、そのような思いから私たちは例年新たな仲間を増やすべく会員拡大活動を推進しています。新型コロナウイルスにより経済活動が低迷する中働き盛りである私たちが活動すること、そして新しい仲間を見つけていくことは容易な事ではありません。しかし私たちは、私たちが生きる地域の為に先の見えない今だからこそ未来を見据えて活動していく必要があると考えます。メンバーそれぞれが地域を思い活動をする事で、地域を創るのはそんな一人一人の人の力である事を同世代の青年に知ってもらい、理解していただき共感を生む事で、同じ意識を持った新たなメンバーに出会うことができるのではないのでしょうか。

私たちメンバー自身も地域の未来を思い活動しているという共通認識を持ち、認承60周年を迎える今、メンバー一人一人の魅力、そして活動の魅力を多くの青年に発信し新たな仲間を迎える為に会員拡大推進をしてまいります。

【会を支え活動を支える事で地域創りが行われている】

上田JC活動を支える事務局

私たち青年会議所はメンバーそれぞれが地域の未来を考え、地域の魅力を伝え、地域の子どもや大人たちを育み、新たな仲間を見つけてメンバーそれぞれが成長する機会を創出する、その為に様々な事業を実践しています。そして地域の為に活動をできるのは、私たち一般社団法人上田青年会議所を運営している事務局がいるからです。メンバーの事を考え、出向者のサポートをし、理事会や総会の実施、渉外活動への参画など数多くの事業運営をして

いるからこそ、一般社団法人として成り立ち活動ができております。サポートをする事は何かを率先して行う事よりも、労力や気力がかかることもあり大変な役割だと思えます。しかしながら事務局無しには、私たち団体は活動ができません。メンバーそれぞれもその事を忘れずに、事務局の中で活動いただけるメンバーも自身が会を運営しているという事に誇りを持ちながら1年間活動に邁進をしていただければと思います。

更に本年は一般社団法人上田青年会議所より北陸信越地区長野ブロック協議会へブロック会長そして多くのメンバーを輩出いたします。長野県内17LOMから多くのメンバーが集い長野県全体を考え運動していく長野ブロック協議会へ、私たち一般社団法人上田青年会議所が出向メンバーを応援しサポートする為にも多くの事業に率先して参画をしております。

【認承60周年を迎えること】

過去への感謝と敬意を込めて更なる未来へ歩む認承60周年特別委員会

2021年私たち一般社団法人上田青年会議所は、認承60周年を迎えます。今私たちが活動をできているのは、一般社団法人上田青年会議所を立ち上げた先輩方、これまで活動いただいた全ての先輩方、地域の皆様方、同志である日本中世界中の青年会議所メンバー、事業を共にする方々、そして家族など多くの方々の歩みや理解、支えがあるからこそであると考えます。全ての方々への感謝の気持ちを持ち、歴史ある団体の中の一人として私たちメンバーが現在活動をしている事を理解し、更なる未来へ向けてスタートを切れるように認承60周年という記念の年を迎えてまいります。

2021年を活動するにあたり

今年度理事長を務めさせていただく中で、一般社団法人上田青年会議所においては初めての女性理事長であるという事がとてもプレッシャーにありました。同じ30代女性には沢山の立場の方がいます。結婚されている方、子どもがいる方、家庭もあり働いている方、独身で働いている方、それぞれの立場によりライフスタイルも、悩んでいる事も、未来へ願う事も、違うのだと思います。どの立場として考えて活動をする必要があるのか、私には理解できる部分もあるが理解できていない部分もあるではないかと思いました。でもそれは女性であるから男性であるからではなく、人それぞれ考える事も望むものも違う、地域とはそういう多様性の集合体であると理解をし、2021年活動をしてまいりたいと思います。

2013年に青年会議所に入会をし、8年目を迎える中で、先輩方やメンバーが多くの時間を費やし地域の為に一つの事業に真剣に取り組む姿、喜怒哀楽を隠す事なく人と関わりあう姿、子供のように楽しむ姿、青年経済人としての働く姿などを近くで見させていただきました。こんな風に考えたい、こんな風に行動したいと思える多くの仲間に出会うことができました。長い歴史がある団体の中の一年の年を理事長という役職をいただき活動できる事に感謝をし、沢山の方々の背中を見て学ばせていただいた事を活かし、地域のためそしてメン

バーのために務めてまいります。

2021年一般社団法人上田青年会議所全てのメンバーと共に、今後必ず来る明るい未来を思い描き地域の為に青年会議所運動を行なってまいります。

基本事業

- ・ 全ての委員会による認承60周年記念事業の実施
- ・ 認承60周年記念式典の実施
- ・ 大きな未来を描く事業の実施（ビジョンの策定）
- ・ 未来を創る子育て事業の実施
- ・ いいものを沢山発見し発信する事業の実施
- ・ 青年を集い我々も輝く事業の実施
- ・ メンバー一丸となった会員拡大活動の実施
- ・ メンバーみんなでSDGsの意識を高め推進する
- ・ 上田わっしょいの実施